



平成30年3月13日

各 位

会社名 株式会社ファルテック  
代表者名 代表取締役社長 横田 昭治  
(コード番号 7215 東証第1部)  
問合せ先 常務執行役員 北原 正裕  
(TEL 044-520-0290)

(訂正・数値データ訂正)「平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正  
について

当社は、平成29年11月10日に開示いたしました「平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(平成30年3月13日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社ファルテック 上場取引所 東  
 コード番号 7215 URL http://www.faltec.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 昭治  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 北原 正裕 TEL 044-520-0290  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	41,824	5.7	486	693.3	464	—	23	—
29年3月期第2四半期	39,562	△0.6	61	△96.4	△156	—	△521	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 99百万円 ( - %) 29年3月期第2四半期 △1,524百万円 ( - %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	2.51	—
29年3月期第2四半期	△56.01	—

(注) 1. 平成29年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 平成30年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	62,375	18,132	26.2	1,740.76
29年3月期	59,860	18,387	27.9	1,787.12

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 16,324百万円 29年3月期 16,678百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	43.33	43.33
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	43.33	43.33

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,700	△1.0	2,300	44.6	2,200	54.4	500	14.7	53.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当第2四半期連結累計期間における新株予約権の行使による発行済株式数の増加を加味して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 - 社（社名） 、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	9,378,600株	29年3月期	9,333,300株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	624株	29年3月期	624株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	9,355,697株	29年3月期2Q	9,318,687株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、日本の景気安定と堅調に推移する欧米経済に支えられ、総じて緩やかな回復基調で推移しました。

特に国内の景気については円安基調の定着等により企業収益の改善傾向が継続し、雇用環境も堅調なため緩やかな回復基調にあり、当社グループの属する自動車業界の概況は国内四輪車生産台数及び販売台数共に前年同期を上回る結果となりました。

このような情勢の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内における新商品の販売増効果等により41,824百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

営業利益は、日本セグメントの増収効果及び北米他セグメントの合理化効果等により486百万円（前年同期比693.3%増）となりました。

経常利益は、営業利益増に加え前年同期に為替差損が214百万円計上されたのに対し、当第2四半期連結累計期間は為替差損が19百万円に減少したこと等により464百万円（前年同期は156百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23百万円（前年同期は521百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。

（日本）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、国内四輪車生産台数及び販売台数の増加に伴う販売増並びにミリ波レーダーカバー、電装品等の新商品販売増により31,440百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

セグメント利益は、操業度増効果及び合理化効果等により437百万円（前年同期は74百万円のセグメント損失）となりました。

（アジア）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、円高による為替換算の影響及び自動車用品ビジネス競争激化の影響等により5,292百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

セグメント利益は、売上高減少影響及び販売商品構成変化の影響等により387百万円（前年同期比41.0%減）となりました。

（北米他）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、円高による為替換算の影響及び販売商品構成変化の影響等により5,091百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

セグメント損失は、英国子会社の新車立上げ費用増の解消等により352百万円（前年同期は597百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ2,515百万円増加し、62,375百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,468百万円、商品及び製品が339百万円、リース資産が645百万円増加し、受取手形及び売掛金が976百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ2,769百万円増加し、44,243百万円となりました。これは主に、短期借入金が2,560百万円、電子記録債務が630百万円増加し、長期借入金が1,249百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ254百万円減少し、18,132百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.7ポイント減少し、26.2%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は7,575百万円となり、前連結会計年度末比で1,468百万円の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、2,512百万円（前年同期比775百万円増）となりました。主な資金の増加は、減価償却費1,831百万円、仕入債務の増加額1,018百万円、売上債権の減少額936百万円であります。主な資金の減少は、たな卸資産の増加額583百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、1,170百万円（前年同期比102百万円減）となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出2,497百万円、有形及び無形固定資産の売却による収入1,410百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、174百万円（前年同期は301百万円の支出）となりました。主な内訳は、短期借入金の純増加額2,558百万円、長期借入金の返済による支出1,336百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出694百万円、配当金の支払額404百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表致しました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,108	7,576
受取手形及び売掛金	<u>18,052</u>	<u>17,075</u>
商品及び製品	<u>2,809</u>	<u>3,148</u>
仕掛品	<u>585</u>	<u>584</u>
原材料及び貯蔵品	<u>2,343</u>	<u>2,570</u>
繰延税金資産	<u>875</u>	<u>852</u>
その他	1,559	1,838
貸倒引当金	<u>△16</u>	<u>△12</u>
流動資産合計	<u>32,317</u>	<u>33,634</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,213	6,263
機械装置及び運搬具（純額）	<u>5,373</u>	<u>5,248</u>
工具、器具及び備品（純額）	<u>1,301</u>	<u>1,372</u>
土地	6,953	6,985
リース資産（純額）	1,750	2,396
建設仮勘定	<u>1,810</u>	<u>2,054</u>
有形固定資産合計	<u>23,404</u>	<u>24,321</u>
無形固定資産	1,057	1,016
投資その他の資産		
投資有価証券	1,439	1,918
繰延税金資産	<u>1,310</u>	<u>1,157</u>
その他	337	<u>333</u>
貸倒引当金	<u>△6</u>	<u>△6</u>
投資その他の資産合計	<u>3,081</u>	<u>3,403</u>
固定資産合計	<u>27,542</u>	<u>28,741</u>
資産合計	<u>59,860</u>	<u>62,375</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,955	10,310
電子記録債務	3,592	4,222
短期借入金	2,585	5,145
1年内返済予定の長期借入金	2,670	2,576
リース債務	1,110	1,498
未払法人税等	207	207
賞与引当金	831	707
課徴金引当金	234	238
その他	4,376	4,788
流動負債合計	25,563	29,695
固定負債		
長期借入金	6,711	5,462
リース債務	513	795
退職給付に係る負債	7,320	6,998
持分法適用に伴う負債	19	1
再評価に係る繰延税金負債	1,007	1,007
その他	336	281
固定負債合計	15,909	14,547
負債合計	41,473	44,243
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,265	2,291
資本剰余金	583	609
利益剰余金	10,616	10,235
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,465	13,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	788	1,120
繰延ヘッジ損益	△1	△1
土地再評価差額金	1,935	1,935
為替換算調整勘定	1,853	1,422
退職給付に係る調整累計額	△1,363	△1,288
その他の包括利益累計額合計	3,213	3,189
非支配株主持分	1,708	1,807
純資産合計	18,387	18,132
負債純資産合計	59,860	62,375



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	39,562	41,824
売上原価	33,941	36,387
売上総利益	5,621	5,437
販売費及び一般管理費	5,559	4,950
営業利益	61	486
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	25	19
持分法による投資利益	32	17
その他	44	46
営業外収益合計	110	91
営業外費用		
支払利息	97	66
為替差損	214	19
その他	16	28
営業外費用合計	328	113
経常利益又は経常損失(△)	△156	464
特別損失		
固定資産除却損	1	11
減損損失	57	-
特別損失合計	58	11
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△215	453
法人税等	198	314
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△413	138
非支配株主に帰属する四半期純利益	108	114
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△521	23

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>△413</u>	<u>138</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	331
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	<u>△1,347</u>	<u>△446</u>
退職給付に係る調整額	231	74
その他の包括利益合計	<u>△1,111</u>	<u>△39</u>
四半期包括利益	<u>△1,524</u>	<u>99</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△1,382</u>	<u>0</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	△142	99

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△215	453
減価償却費	1,805	1,831
のれん償却額	4	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	116	△124
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△262	△257
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△4
受取利息及び受取配当金	△33	△27
支払利息	97	66
持分法による投資損益(△は益)	△32	△17
減損損失	57	-
固定資産除却損	1	11
売上債権の増減額(△は増加)	1,025	936
たな卸資産の増減額(△は増加)	△124	△583
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,156	1,018
その他	1,136	△478
小計	2,420	2,829
利息及び配当金の受取額	33	27
利息の支払額	△95	△66
法人税等の支払額	△622	△278
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,736	2,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,572	△2,497
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,432	1,410
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
長期前払費用の取得による支出	△131	△31
その他	△1	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,273	△1,170
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,046	2,558
長期借入れによる収入	42	-
長期借入金の返済による支出	△1,370	△1,336
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△619	△694
ストックオプションの行使による収入	2	50
配当金の支払額	△403	△404
財務活動によるキャッシュ・フロー	△301	174
現金及び現金同等物に係る換算差額	△320	△47
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△159	1,468
現金及び現金同等物の期首残高	4,785	6,106
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,626	7,575

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,248	5,644	5,669	39,562	-	39,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	474	90	0	565	△565	-
計	28,722	5,735	5,669	40,127	△565	39,562
セグメント利益又は損失 (△)	△74	657	△597	△13	74	61

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、売却予定の資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては57百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,440	5,292	5,091	41,824	-	41,824
セグメント間の内部売上高 又は振替高	439	32	10	482	△482	-
計	31,880	5,324	5,102	42,306	△482	41,824
セグメント利益又は損失 (△)	437	387	△352	472	14	486

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

## (多額な資金の借入)

米国子会社であるFALTEC AMERICA, INC. において、生産設備の取得資金の調達を目的として、以下の借入を行っております。

借入先の名称	㈱みずほ銀行 他
借入金額	16,000,000ドル
借入利率	基準金利＋スプレッド
借入実行日	平成29年10月31日
返済期限	平成31年10月31日
担保提供	無